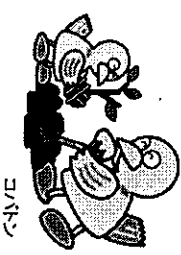


卒業記念樹を受け取ったみなさんへ

あなたの家に

「みどり」を増やしませんか



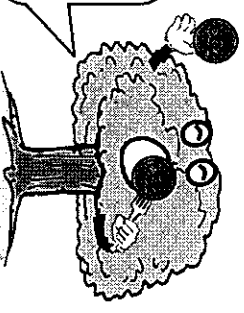
潤いと癒しを与えてくれる木々をもっと増やしたい。
街に緑をつくらせて埼玉の魅力をもっと大きくしたい。
そのために埼玉県では1人1本植樹運動を進めています。

メッセージ1

二酸化炭素を吸収してくれます

- 木々は、光合成により二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の防止に重要な役割を果たしています。

ブナなどの天然林では、
年間で1haあたりに
約4,600kgものCO₂を
吸収しています。



※人間1人が呼吸により排出するCO₂
(二酸化炭素)は年間約320kg
出典：林野庁資料

メッセージ2

快適な環境を形成し省エネにつながります

- 木々は、蒸散作用や木陰の効果により気温を下げ、ヒートアイランド現象を緩和するなど、快適な環境を創ってくれます。

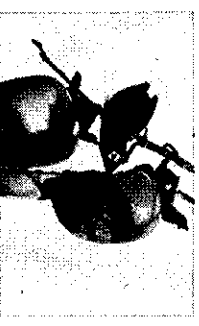


※環境省によれば、緑の多い皇居外苑では平成19年8月の観測で、周辺市街地よりも最大2.8℃も気温が低いことが確認されています。

メッセージ3

都市における生物多様性に寄与します

- 実のなる木や蝶などが集まる木々を植えることで、様々な虫や鳥などと共存できる都市環境を創ってくれます。



メッセージ4

災害に強い街づくりには役立ちます

- 木々は、火災に伴う熱や火の粉から家を守り、延焼を防いでくれます。

※阪神・淡路大震災において、クスノキなどの常緑広葉樹は、火災の延焼防止機能を有していることが確認されています。隣家との境に植えるには、マサキ、サシカ、ヌダジシ、シラカシ、クスノキなどの、葉が厚い常緑の樹木が適しています。

